

令和4年調査
酒類業実態調査表 A

調査対象期間
事業年度（個人は令和3年分）

氏 名 又 は 名 称				業 者 番 号			
担 当 者 部 署 名				担 当 者 名		電 話 番 号	
事 業 年 度 (法 人 の み)		自 年 月 日		至 令 和 3 年 月 日			

(注) 記載の内容について問い合わせる場合がございますので、担当者名等をご対応できる方の氏名を記入してください。

1 令和4年1月1日の直前に終了した事業年度（個人事業者においては令和3年分）における確定した決算の額及び年平均の従業員数を記入してください。

酒類製造業及び卸売業毎の売上高等ではなく、個人または法人で行っている事業全体の売上高等を記入してください。
酒類製造者等と卸売業者の両方に該当する場合は、製造者等の調査表のみに記入してください。

	令和4年1月1日の直前に終了した事業年度（個人事業者においては令和3年分）における確定した決算の額																		
	内 酒 類 事 業				卸 売				小 売										
売 上 高 (千円)	109				110					111					112				
売 上 原 価 (千円)	113				114					115					116				
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 (千円)	117				118					119					120				
税 引 前 当 期 純 利 益 (千円)	121																		
資 本 金 (千円)	126																		
従 業 員 数	年 平 均				内 酒 類 事 業				(注) 従業員数は原則年平均で記入してください。年間を通じて大きい変動がない場合（季節雇用の従業員がいないなど）は、事業年度末（個人は、令和3年末）の人数を記入していただいて構いません。										
	127				128														

2 令和4年1月1日の直前に終了した事業年度（個人事業者においては令和3年分）における、リポートの額を記入してください。

酒類製造者等と卸売業者の両方に該当する場合、「リポート取引額（122及び124）」欄は事業全体の取引額、「内 酒類事業（123及び125）」欄は製造業者等と卸売業者としての取引を区分の上、それぞれの調査表に記入してください。

	リ ー ポ ー ト 取 引 額				内 酒 類 事 業			
	受 取 リ ー ポ ー ト (千円)	122				123		
支 払 リ ー ポ ー ト (千円)	124				125			

令和4年調査
酒類業実態調査表D①

調査対象期間
事業年度 (個人は令和3年分)

氏 名 又 は 名 称

個別項目 (清酒)

1 清酒製造業に係る以下の項目を記入してください。

損 益 計 算 書 (千円)					清 酒 の 生 産 費 等 製 造 原 価 (千円)					清酒製造業の従業員数 (人)						
課 税 売 上 高	211				原 材 料 費	原 料 米 代	米 代	220					製造部門	223		
未 納 税 売 上 高	212						引 取 諸 掛	221						詰口部門	224	
そ の 他	213					そ の 他	222						そ の 他	225		
計	214				課 税 移 出 数 量 (リットル)					計	226					
課 税 売 上 原 価	215				移 出 地 域	自 県 分	227									
未 納 税 売 上 原 価	216					自 県 以 外 の 自 局 分	228									
そ の 他	217					他 局 分	229									
計	218				計		230									
販売費及び一般管理費	219															

2 自社間の移出入を除く未納税移出入数量及び取引先数について記入してください。

区 分	実 数 量 (リットル)					取 引 先 数 (者)				
未 納 税 移 出	231					233				
未 納 税 移 入	232					234				

3 清酒製造業の製造責任者の状況について当てはまる番号を記入してください。

1 代表者親族 2 杜氏制 3 社員杜氏

210	
-----	--

令和4年調査
酒類業実態調査表E①

調査対象期間 事業年度 (個人は令和3年分)

氏 名 又 は 名 称

個別項目 (単式蒸留焼酎)

1 単式蒸留焼酎製造業に係る以下の項目を記入してください。

損 益 計 算 書 (千円)				単式蒸留焼酎の生産費等製造原価 (千円)				単式蒸留焼酎製造業の (人)					
課税売上高	307			原材料費	主原料代 (米、芋及び黒糖代等)	316				製造部門	320		
未納税売上高	308				その他	317				詰口部門	321		
その他	309			焼酎粕の処理費				その他	322				
計	310			総額 (千円)				318			計	323	
課税売上原価	311			トン当たりの処理単価 (円)				319					
未納税売上原価	312												
その他	313												
計	314												
販売費及び一般管理費	315												

2 自社間の移出入を除く未納税移出入数量及び取引先数について記入してください。

区 分	数量 (25度換算) (リットル)	取引先数 (者)
未納税移出	324	326
未納税移入	325	327

3 自社間の移出入を除く未納税移出入の状況を製造場ごとに原材料別の数量を上位5場について記入してください。

328	移出先製造場名	329	原材料別	330	未納税移出数量 (25度換算) (リットル)	331	単価 (円)	332	移入元製造場名	333	原材料別	334	未納税移入数量 (25度換算) (リットル)	335	単価 (円)

4 単式蒸留焼酎製造業の製造責任者の状況について当てはまる番号を記入してください。

1 代表者親族 2 杜氏制 3 社員杜氏

306	
-----	--

令和4年調査
酒類業実態調査表E②

調査対象期間
暦年（令和3年1月1日から令和3年12月31日）

氏名又は名称	調査対象期間（調査期間が暦年以外の場合）
	自 年 月 日
	至 令和3年 月 日

個別項目（単式蒸留焼酎）

5 原材料別に記入してください。

暦年で記入できない場合は、事業年度で記入していただいても差し支えありません。その場合、具体的な期間を右上の「調査対象期間」欄に記入してください。

原材料別	301 製成数量 (25度換算) (リットル)	302 売上数量 (国内取引) (リットル)	303 売上金額 (国内取引)(税抜) (千円)	304 輸 出 数 量 (リットル)	305 輸 出 金 額 (千円)
芋 焼 酎					
米 焼 酎					
麦 焼 酎					
そば 焼 酎					
黒糖 焼 酎					
かす取り焼酎					
泡 盛					
その他の単式蒸留焼酎					
焼酎乙類甲類混和					
合 計					

令和4年調査
酒類業実態調査表G

調査対象期間
事業年度 (個人は令和3年分)

氏名又は名称

個別項目 (果実酒)

個別項目 (調査表G及びH①～H④)は、果実酒のうち、ぶどうを原料としたものについて記入してください。

※ 果実酒のうち、ぶどう以外の果実のみを用いたもの (例えば、りんごを100%使用したシードル) は、調査対象に含まれません。

日本ワインとは、「果実酒等の製法品質表示基準」に規定する、原料の果実として国内で収穫されたぶどうのみを使用し、国内で製造された果実酒をいいます。

1 日本ワイン及び日本ワイン以外のものに係る、令和4年1月1日の直前に終了した事業年度 (個人は令和3年分) における確定した決算の額を記入してください。

売上原価	501	千円
内 原料費	502	千円
販売費及び一般管理費	503	千円

2 日本ワイン及び日本ワイン以外のものの販売数量について容量別に記入してください (調査対象期間は上記1と同様です。)

容量別	販売数量 (リットル)
375ml	504
720ml	505
750ml	506
1.8L	507
その他	508

令和4年調査
酒類業実態調査表H①

調査対象期間
令和3年4月1日から 令和4年3月31日

製造場名	都道府県名

この調査表は製造場ごとに記入してください。

1 外国産ワインの輸入数量

原料用 (リットル)	販売用 (リットル) (そのまま販売容器に充填して移出するため に輸入したワイン)
509	510

2 日本ワイン及び日本ワイン以外のものの課税移出数量及び未納税移出数量

区分	数量 (リットル)	
	合計	内 日本ワイン
課税移出数量	511	512
未納税移出数量	513	514

令和4年調査
酒類業実態調査表H②

調査対象期間
令和3年4月1日から 令和4年3月31日

製造場名	都道府県名

この調査表は製造場ごとに記入してください。

3 日本ワイン及び日本ワイン以外のものの自社製造状況

※ この表には、令和3年4月1日から令和4年3月31日の間、①自社において生ぶどう等を発酵させて最初に製成した日本ワインの数量及び②自社において原料を発酵させて最初に製成した日本ワイン以外のものの数量を記入してください。

区分	① 日本ワイン										② 日本ワイン以外のもの														
	数量										数量														
	赤ワイン		白ワイン		スパークリングワイン		その他ワイン (ロゼワインを含む。)		合計		合計														
製成数量	515	(リットル)	516	(リットル)	517	(リットル)	518	(リットル)	519	(リットル)	524	(リットル)													
使 産 用	国	/										520	(キログラム)	525	(キログラム)										
	ぶどう果汁											521	(リットル)	526	(リットル)										
	その他											522	(キログラム)	527	(キログラム)										
	糖度20度換算											523	(キログラム)	528	(キログラム)										
原 輸 料 入	濃縮果汁											/										529	(リットル)		
	糖度20度換算																					530	(キログラム)		
	生ぶどう																					531	(キログラム)		
	その他																					532	(キログラム)		
糖度20度換算	533																					(キログラム)			

輸出に関するアンケート表 I

氏 名 又 は 名 称

※ 同一の者が酒類製造者等と卸売業者の両方に該当する場合は、1者としての回答を酒類製造業者等のアンケート表に記入してください。

○ 現在、輸出を行っていない方（過去に輸出を行ったことがある方を含みます。）にお尋ねします。

（Q1～4にご回答ください。）

Q1 今後、輸出を検討していますか。

1：1年以内に開始（再開）予定 2：将来的には開始（再開）することを検討中 3：今後も行わない

--

Q2 現在、輸出を行っていない理由について、最も近いものを以下から選択し記入してください。

1：忙しく余裕がない 2：輸出の仕方が分からない 3：利益が出るか不安である
 4：現地で酒の需要が分からない 5：国内販売で経営が成り立つ 6：複雑な手続が不安である
 7：代理店・パートナーが見つからない 8：代理店等の流通に関する情報が不足している
 9：価格交渉が一致しない 10：海外に対応している人材が不足している
 11：相手国が求める認証・基準への対応に苦慮している 12：どこに相談したらよいか分からない
 13：輸出向け酒類の数量を確保するのが困難である 14：国内販売を最優先している
 15：きっかけがない 16：その他（具体的な内容を記入）

	16：その他を選択した場合、具体的な内容を記入してください。
--	--------------------------------

Q3 Q1で「1」又は「2」を選択した方にお尋ねします。今後、輸出を検討している国はどこですか。別紙7「国一覧」から最大3か国選んで国番号及び国・地域名を記入してください。

国番号	国・地域名	国番号	国・地域名	国番号	国・地域名

Q4 輸出に関連して、国税庁や政府系機関に期待する取組があれば自由に記入してください。

--

○ 現在、輸出を行っている方（卸売業者等を通じて輸出を行っている方も含みます。）にお尋ねします。

（Q5～14にご回答ください。）

Q5 貴社（あなた）が輸出に取り組む上で、相手国の法制度上、最も障害になったこと（なっていること）は何ですか。相手国を別紙7「国一覧」から選んで国番号及び国・地域名を記入した上、最大3か国について下記の番号を記入してください。

1：関税 2：証明書等の書類の提出 3：その国の内国税 4：輸出手続の煩雑性 5：通関検疫
 6：その他（具体的な内容を記入）

国番号	国・地域名	番号	6：その他を選択した場合、具体的な内容を記入してください。

Q6 貴社（あなた）が輸出に取り組む上で、Q5以外で最も障害になったこと（なっていること）は何ですか。下記の番号から選択し記入してください。

1：海外担当の人材確保・育成 2：販路開拓 3：代理店・パートナー探し 4：代金の回収
 5：物流の手配 6：海外市場の情報不足 7：海外営業のための経費負担 8：ラベル等商品表示
 9：現地で品質管理 10：価格設定 11：輸出費用（送料、コンテナ費用等） 12：輸出時の品質管理
 13：その他（具体的な内容を記入）

	（13：その他を選択した場合、具体的な内容を記入してください。）
--	----------------------------------

輸出に関するアンケート表 J

氏 名 又 は 名 称

※ 同一の者が酒類製造者等と卸売業者の両方に該当する場合は、1者としての回答を酒類製造業者等のアンケート表に記入してください。

Q7 輸出の取引形態について、別紙4「輸出取引のパターン分け」のパターン1～パターン4のうち、主な取引形態を以下から選択し記入してください。

1：パターン1 2：パターン2 3：パターン3 4：パターン4

Q8 今後、どの国の海外バイヤーと商談をしたいと考えていますか。別紙7「国一覧」から最大3か国選んで国番号及び国・地域名を記入してください。

また、その国・地域と商談したい理由も記入してください。

国番号	国・地域名	理由

Q9 輸出先国での主な販売先について下記の番号から選択し記入してください。

1：飲食店 2：百貨店等の大型店 3：酒販店・スーパー・コンビニ等の小売店
 4：個人（個人へのインターネット販売を含む。） 5：流通業者に一任しているため、販売先不明
 6：その他（具体的な内容を記入）

	（6：その他を選択した場合、具体的な内容を記入してください。）
--	---------------------------------

Q10 輸出の促進に有効と考える取組について、下記の番号から最大3つまで選択し記入してください。

1：商品企画（ラベル等） 2：商談（プレゼンテーション） 3：商品の発送 4：輸出手続
 5：ホームページ 6：その他（具体的な内容を記入）

			（6：その他を選択した場合、具体的な内容を記入してください。）
--	--	--	---------------------------------

Q11 輸出先国における現地代理人の有無について、相手国を別紙7「国一覧」から選んで国番号及び国・地域名を記入した上、最大3か国についてご回答ください。

1：有 2：無

国番号	国・地域名	現地代理人の有無	現地代理人有の場合、 現地代理人が1社又は複数社の別

Q12 酒類に係る現在の輸出比率（酒類の売上高に占める輸出金額の割合）及び将来的に目標とする輸出比率について、以下から選択し記入してください。

1：0%～10%以下 2：10%超～20%以下 3：30%超～40%以下 4：40%超～50%以下 5：50%超～100%
 （現在の輸出比率） （将来的な輸出比率目標）

Q13 国税庁、JETRO及びその酒類に係る各種団体等が支援する海外展示会、海外商談会等への参加の有無について、以下から選択してください。

1：有 2：無

Q14 政府に期待する取組・施策があれば、ご自由に記入してください。

酒類行政に関するアンケート表K

氏 名 又 は 名 称

Q 1 国税庁が実施している産業振興施策や補助金等について御意見・御要望があれば自由に記載してください。

--

Q 2 (酒類製造者のみご回答ください。)「酒類における有機の表示基準」(平成12年12月26日国税庁告示第7号)に基づき「有機」又は「オーガニック」の表示をする酒類の数量を記入してください(対象期間は暦年です。)

品 目	有 機 酒 類 の 状 況 (リットル)							
	輸 出 免 税 数 量				課 税 移 出 数 量			
清 酒								
合 成 清 酒								
連続式蒸留焼酎								
単式蒸留焼酎								
み り ん								
ビ ー ル								
果 実 酒								
甘味果実酒								
ウイスキー								
ブランデー								
原料用アルコール								
発 泡 酒								
その他の醸造酒								
スピリッツ								
リキュール								
粉 末 酒								
雑 酒								
合 計								

Q 3 酒類行政に関する御意見等があれば記入してください。

--